

## フランス生まれの「ペタンク」ってどんなスポーツ？

発祥は1910年に南フランスの港町ラ・シオタで生まれた誕生100周年を越えた伝統を持っています。ペタンクとは、フランス語のピエタンケという「両足を揃える」の意味の言葉から転じたそうです。

### ——ペタンクは実際にどうやるのでしょうか？

「ペタンクはまずビュットという的をスタート位置（直径50cmの輪）から6~10メートルのところに投げるのがスタートです。ボールを投げてビュットという的に近づけ点数を競います」



### ——なるほどボールを的に当てるために玉を投げるスポーツなんですね。

「いいえ、当てるだけではなく、転がしたり、滑らせたりもOKです。自分のチームのボールを的に近寄せるためにビュット（的になる小さなボール）に近い相手のボールを当てて除いたり、自分のボールを寄せたりします」

### ——では試合はどうやるのですか？

「ダブルスの場合、一人3球、1チーム6球投げられます。的に一番近づいたチームのボールが相手チームの一番近いボールまでが得点となり、13点先取りしたチームが勝者となります」

### ——ちなみにペタンクの面白さはどこにあるのでしょうか？

「カーリングは決まった場所にある的に向かっていきますが、ペタンクはビュットを投げた場所が的になるため、毎回のメーヌが違う条件となり、個人の可能性を試せ、チームがさまざまな作戦を考えたり、いかにして多く点数をとれるか考えること、そこがペタンクの面白さですね」  
投げたり、当てたり、転がしたり、滑らしたりとどういう風に戦うかをチームごとにルールや作戦を変えていくのがペタンクの魅力なのですね……

